

「議会ほっとミーティング」における住民要望等の取りまとめ

1 開催日及び相手方

令和7年11月 8日（土） 三ヶ尻瘤木地域見守りふれあいネットワーク 12名

令和8年 1月12日（月） 黒沢サロン 13名

計2回 25名参加

2 出席議員

延べ 12名

3 町に対する要望等

<三ヶ尻瘤木地域見守りふれあいネットワーク>

- (1) 町内の医療機関が廃業し、残る医師も高齢化が進んでいる。将来、身近な場所で診療を受けられなくなるおそれがあり、医療体制の維持・確保に向けた具体的な対応を講じられたい。
- (2) 皮膚科や耳鼻科が町内にないため、町外の医療機関に通院せざるを得ず、住民にとって大きな負担となっている。診療所への診療科の設置を検討されたい。
- (3) 高額な新薬により治療を続けている方がおり、自己負担分が重い。負担能力のない方への支援策を講じられたい。
- (4) 食料品や光熱費など生活に欠かせないものの値上がりが続いている。今後も物価高対策を継続して実施されたい。
- (5) クマ等の鳥獣が人里に出没する要因の一つに、耕作放棄地や空き地の草木の繁茂がある。鳥獣被害を防止するため、私有地の所有者に対し草刈りの実施を働きかけられたい。
- (6) 救急車がUターンできないような狭い生活道路がある。緊急時の対応に支障を来すおそれがあり、計画的に解消されたい。

<黒沢サロン>

- (1) 議員のなり手不足が深刻であり、若い世代が議員を志せる環境を整えるべきである。報酬は平成15年以来約23年間据え置かれており、平成24年に定数を18人から16人に削減した際にも報酬は見直されなかった。近隣市の状況も踏まえ、報酬を見直すべきとの意見があった。
- (2) 議員定数（現行16人）はこれ以上減らさない方がよい。減らすと多様な意見が届きにくくなり、投票率や議会への関心の低下を招くとの意見が多かった。年齢に関係なく、多

くの声が反映される体制を維持すべきである。

- (3) 空き家の放置が深刻化し、周辺の田んぼや住環境に影響を及ぼしている。相続登記義務化の周知と相談窓口の充実、空き家の利活用マッチングの促進を図られたい。また、草刈り等を行っている地域住民への支援制度を検討されたい。
- (4) 「みどりの郷」は運営会社の破産により休業状態にあり、管理状況の悪化と防犯上の問題がある。県南唯一のスケート場を有する施設であり、町としての関与・取得等の手段を早急に検討し、住民に適時情報を共有されたい。
- (5) 地域の担い手不足が深刻化し、自治会活動や各種団体の活動が縮小傾向にある。若者や女性が地域に参画できるよう支援を強化するとともに、近隣市への人口流出を食い止める定住促進策を講じられたい。
- (6) 米価の急騰は長年にわたり段階的な引上げがなされてこなかったことが一因との声があった。農業者が将来の見通しを持てるよう、農産物価格の安定化と、若者が農業に参入しやすい環境の整備を推進されたい。

4 所感

三ヶ尻瘤木地域見守りふれあいネットワークでは各議員から所属委員会等の活動状況を、黒沢サロンでは議員報酬等検討特別委員会の委員長から活動状況をそれぞれ報告し、両会場とも活発な意見交換が行われた。

医療、物価高、鳥獣被害、生活道路の安全、空き家・地域施設の荒廃、農業、地域の担い手確保、議員のなり手不足と、寄せられた課題は多岐にわたるが、いずれも人口減少と高齢化が進む中で地域の暮らしを守れるかという根本的な問いに通じている。住民が将来に不安を抱えている現状を重く受け止め、町とともにこれらの課題に取り組んでいきたい。

なお、議会では議員報酬等検討特別委員会において議会基本条例の制定、議員報酬の見直し及び議員定数の検討を進めており、住民意見交換会やパブリックコメント等を通じて広く意見を聴きながら、住民に信頼される議会づくりに努めてまいる所存である。